

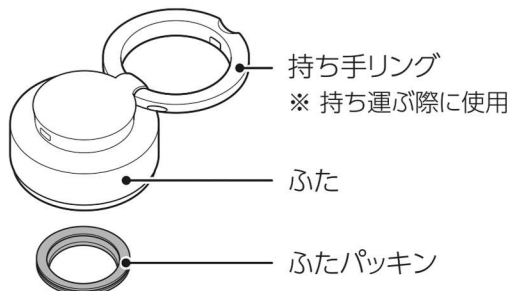
ティファール ステンレスマグボトル

Mobility Mug

モビリティ マグ

家庭用

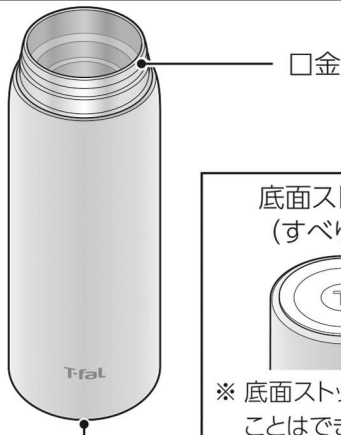
ふたユニット



ティーストレーナー



本体



- お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 読み終わったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。
- ご使用前に各部品がそろっていることを確認してください。

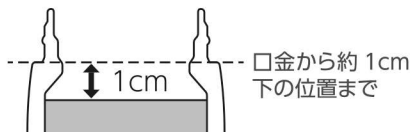
安全上の注意

ご使用の際は、以下のことを必ずお守りください。

本製品は、乳幼児の手の届かないところに置き、使用させないでくださいやけどやけがの原因になります。

飲み物は入れ過ぎないように注意してください

図の位置以上は入れないでください。ふたユニットやティーストレーナーを取り付けたときや持ち運んでいるときに飲み物があふれ、やけどや他の物を汚す原因になります。



※ ティーストレーナーを使う場合は、ティーストレーナーの底面から約1cm下の位置まで飲み物を入れてください。

使用時・使用後は以下の点に注意してください

- ふたユニットは確実に取り付けて使用してください。
- ふたパッキンは必ず装着して使用してください。
- 使用後はふたを確実に閉めてください。飲み物がもれたり、こぼれたりしてやけどしたり、他の物を汚す原因になります。

飲み物を長期間入れたままにしないでください

腐敗の原因になります。

また、腐敗によりガスが発生して内圧が上がり、ふたユニットが飛んだり、飲み物が吹き出したりしてけがや他の物を汚す原因となります。

傾けた状態や顔に近づけた状態でふたを開けないでください

飲み物が飛び出たり、飛散してやけどや他の物を汚す原因になります。

改造したり、説明書に記載のない分解修理をしないでください

故障や事故の原因になります。

ふたユニットを取り付けるときは、本体を傾けたり、揺らしたりしないでください。また、転倒に注意してください

お茶の葉を使用する際は、お茶の葉、もしくはお茶パックに入れたお茶の葉を本体に直接入れてください

ティーストレーナーにはお茶の葉を入れられないようご注意ください。

ティーストレーナーを本体に取り付ける際は、カチッと音がするまで押し込み、確実に取り付けてください

ティーストレーナーがしっかりと固定されていないと、お茶の葉がもれたり、ふたが閉まらない場合があります。

熱い飲み物を入れた場合は、本体を急に傾けて飲まないでください。急に飲み物が出てやけどの原因になります。

持ち手リングを持って持ち運ぶ際は、際は、ボトルを強く振ったり、振り回さないでください

また、ふたユニットがしっかりと閉まっていることを確認してください。

ふたユニットが外れて中身がこぼれる恐れがあります。

以下のものは絶対に入れないでください

- **ドライアイス・炭酸飲料**
内圧が上がり、飲み物が吹き出たり、ふたユニットが開かなくなったりしてやけどや破損の原因になります。
- **みそ汁・スープなど塩分を多く含むもの**
さびの原因になります。
- **牛乳・乳飲料**
腐敗の原因になります。
- **果汁**
飲み口に詰まったり、もれたりする原因になります。

ストーブやガスコンロなど火気に近づけないでください

変形・変色したり、やけどの原因になります。

電子レンジで加熱しないでください

火花が飛び、電子レンジの故障や本体の変形・変色の原因になります。

使用後はすぐに本体内を洗ってください
腐敗や本体内のさびの原因になります。

スポーツ飲料を入れた場合は、使用後すぐにお手入れをしてください

外出時にお手入れができないときでも、すぐに本体内側をよく水洗いしてください。

さびや穴があく原因になります。

口金部分に熱いやかんなどを触れさせないでください

本体が転倒しやけどの原因になります。

口金部分



飲み物を入れる以外の目的には使用しないでください

けがや事故の原因になります。

本体の真空二重構造の中から水の音がする場合は、使用しないでください
本体内側に飲み物がしみ出して体調不良の原因になります。

保温性能が低下した製品は使用しないでください

熱いものを入れると本体が熱くなり、やけどの原因になります。

缶ホルダーを使用する際は、強度を確認してから使用してください

ホルダーが破損するなどして、やけどや飲み物がこぼれる原因になります。

自動車走行中は飲まないでください

飲み物がこぼれてやけどをしたり、車内を汚す原因になります。

冷凍庫に入れないでください

飲み物がもれたり、破損の原因になります。

飲み口に残った飲み物は拭き取ってください

ふたを閉めたときにこぼれる恐れがあります。

専用パーツ以外は使用しないでください
もれや故障の原因になります。

バッグなどに入れる際は、万一のもれを防ぐため、製品を縦置きにしてください
お出かけ前に、製品を逆さにしてもれないことを確認してください

お手入れ上の注意

さびや製品の破損、ステッカーがはがれるなどの原因になるため、下記をお守りください。

ご使用後はすぐにきれいに洗い、十分に乾燥させてください

お手入れの際は、シンナーやベンジン、金属たわし、研磨材入りたわし、みがき粉、クレンザーなどは使用しないでください
塩素系漂白剤は使用しないでください

本体外側は、漂白剤を使用しないでください

食器洗い機、食器乾燥機は使用しないでください

本体は水中に放置しないでください

煮沸はしないでください

使用上の注意

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください

変形したり、飲み物がこぼれる原因になります。

ふた部分のみを持って本体を運んだり、ふたを開閉しないでください
破損・落下の原因になります。

大きな氷は砕いて小さくしてから入れてください

無理やり押し込んだり、たたいたりすると、変形や故障の原因になります。

氷を入れた場合などは本体内の圧力が下がり、ふたパッキンが外れる場合があります

その場合はふたパッキンを取り付けてください。

本体に貼ってあるステッカーははがさないでください

使用後は必ずふたユニット、ふたパッキン、ティーストレーナーをきれいに洗ってください

腐敗、カビ、におい移り、変色等の原因になります。

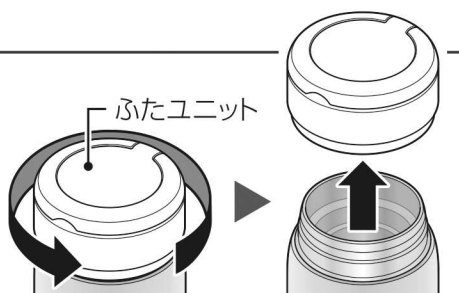
持ち手リングを持ってふたユニットの開け閉めをしないでください

持ち手リングが破損する恐れがあります。

飲み物を入れる

1 本体からふたユニットを外します。

ふたユニットを反時計回りに回して取り外してください。



2 飲み物を本体に注ぎます。

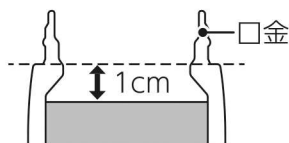
飲み物は図の位置以上入れないでください。入れすぎるとあふれる恐れがあります。

□金から約 1cm
下の位置まで

● あらかじめ本体に熱湯（冷水）を入れ、1分程度予熱（予冷）をすると、保温（保冷）に効果的です。

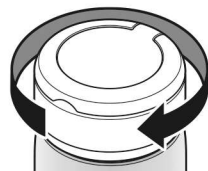
● お茶の葉を使用する際は、お茶の葉、もしくはお茶パックに入れたお茶の葉を本体に直接入れてください。

● ティーストレーナーはカチッと音がするまで、本体に押し込んでください。



3 ふたユニットを取り付けます。

ふたユニットを時計回りに回して確実に取り付けてください。



！ 注意

● 使用するときには必ずふたパッキンが正しく装着されていることを確認してください。正しく取り付けられていないと、飲み物がもれる原因になります。

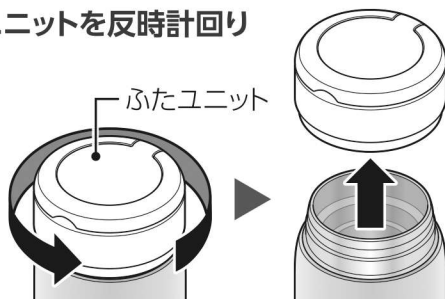
(→「ふたパッキン・ティーストレーナーの取り付け方」8 ページ)

● ふたユニットを取り付けるときは、本体を傾けたり、揺らしたりしないでください。また、転倒に注意してください。

飲むとき

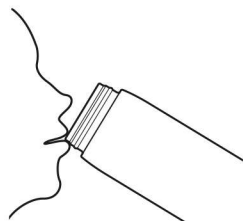
- 1** 本体を立てた状態で、ふたユニットを反時計回りに回して外します。

傾けた状態でふたユニットを開けないでください。飲み物がこぼれたり、やけどの原因になります。



- 2** 飲み口に口をつけ、ゆっくりと本体を傾けて飲みます。

本体を急に傾けると、飲み物がこぼれたりやけどの原因になりますので、ご注意ください。



! 注意

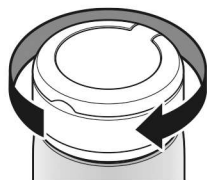
ティーストレーナーをご使用の際は、ティーストレーナーがしっかりと本体に固定されていることを確認してから飲んでください。

固定されていない状態で使用すると、ティーストレーナーが外れる恐れがあります。



- 3** 飲み終わったら、本体を立てた状態で、ふたが回らなくなるまで時計回りに回し、確実に閉めます。

ふたがきちんと閉まっていないと飲み物がこぼれる原因になりますので、ご注意ください。



お手入れ

ご使用後は、すぐにお手入れをしてください。

洗浄には柔らかいスポンジと中性洗剤をお使いください。

長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って、十分に乾燥させてから、高温多湿の場所を避けて保管してください。

ふたユニット		本体から取り外し、ふたパッキンを外してから、よく洗います。 洗った後は、十分に乾燥させてください。
ふたパッキン		ふたユニットから外した後、よく洗い、十分に乾かします。
ティー ストレーナー		本体から取り外してよく洗い、十分に乾かします。
本体	内側	柄のついたスポンジなどでよく洗った後、十分に乾かします。
	外側	洗った後、水を切り、十分に乾かします。

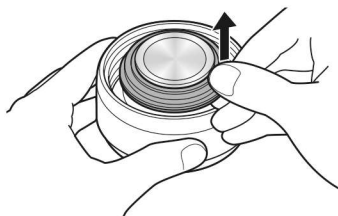
！ 注意

- お手入れの際は、シンナーやベンジン、金属たわし、研磨材入りたわし、みがき粉、クレンザーなどは使用しないでください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
- 本体外側は、漂白剤を使用しないでください。
- 食器洗い機、食器乾燥機は使用しないでください。
- 本体は水中に放置しないでください。
- 煮沸はしないでください。

ふたパッキン・ティーストレーナーの取り外し方法

ふたパッキン

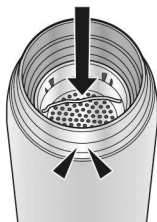
引っばって取り外します。



ティーストレーナー

カチッと音がするまで、本体に押し込みます。

熱い飲みものを入れている場合は、やけどに注意してください。



ふたパッキン・ティーストレーナーの取り付け方法

ふたパッキン

パッキンの向きに気を付けて取り付けます。

平らな面をふたユニット側にして取り付けます。

パッキンの溝をふたの突起に合わせて取り付けます。



ティーストレーナー

引っばって取り外します。

熱い飲みものを入れている場合は、やけどに注意してください。



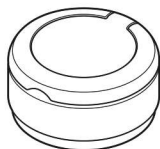
こんなときは

症状	考えられる原因	対処方法
ふたユニットから 飲み物がもれる	ふたがきちんと閉まっていない	カチッと音がするまで確実にふたを閉めてください。
	ふたパッキンが取り付けられていない	ふたパッキンを正しく取り付けてください。
	飲み物を入れすぎている	飲み物は満杯まで入れるともれる恐れがあります。5 ページを参照にして量を調節してください。
ふたパッキンや本体内部からいやなにおいがする	本体内部やふたパッキンが汚れている	ふたパッキンを取り外してよく洗浄してください。

部品の交換／購入

ふたパッキン等の消耗品をご購入されたい場合は、当社「部品注文センター」にお問い合わせください。ご購入いただける部品は以下のものです。

ふたユニット
(ふたパッキンを含む)



ふたパッキン



ティーストレーナー



● 交換部品は必ず、純正部品をご使用ください。他社の部品では代用できません。

仕様

容量タイプ	450ml
保温効力	68℃以上（6時間）
保冷効力	8℃以下（6時間）

- ※ 保温効力とは、室温 20℃± 2℃において製品に熱湯をふたユニット下端まで満たし、縦置きにした状態で湯温が 95℃± 1℃の時から 6 時間放置した場合におけるその湯の温度。
- ※ 保冷効力とは、室温 20℃± 2℃において製品に冷水をふたユニット下端まで満たし、縦置きにした状態で水の温度が 4℃± 1℃の時から 6 時間放置した場合におけるその水の温度。

製品の改良・改善のために仕様の一部を予告なしに変更することがあります。そのためイラストと製品とは多少異なる場合があります。

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター



0570-077772

受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

修理センター

※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。

9100061302